

## 11月のテキゴト

### 11月24日(日)開催 生活環境講座①

環境学館いずみで、今年度2回計画されている生活環境講座の第一回目が開催されました。

テーマは「私たちをとりまく化学物質」です。埼玉県の出前講座の中から、生活環境に特に関わる内容として選定されたものです。

講師は、環境科学国際センターの堀井勇一先生です。講座には、16名と大勢の方にご参加いただき、いずみボランティア4名も坂戸市民として参加させていただきました。



堀井 勇一先生

堀井先生から、まず本日の講座の内容紹介があり、項目として次の5項目を挙げられました。

1. 化学物質とは
2. 化学物質の負の側面
3. 化学物質の管理
4. 化学物質の有害性
5. 化学物質とのつきあい方

堀井先生から、パワーポイントと配布資料で詳しくご説明していただきました。ご説明の一部紹介と、特に興味深く聞かせてもらったところを以下記載します。

#### 〈1. 化学物質とは〉

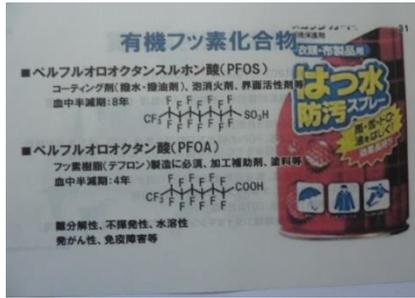
「身の回りのものはすべて化学物質」とのことです。「驚き」と共に「納得」です。

#### 〈2. 化学物質の負の側面〉

やはり、「化学物質」という言葉を聞くと、便利さと共に、負の側面が浮かんできます。まず挙げられたのは「水俣病、イタイイタイ病、ダイオキシン類」の公害や汚染です。でもこれらは、現在かなり対策されている印象です。

現在特に注目すべきは、「有機フッ素化合物」「揮発性環状メチルシロキサン(VMS)」等と聞いていて思いました。

- ・有機フッ素化合物は、分解しにくいことと共に発がん性の危険があります。
- ・揮発性環状メチルシロキサン(VMS)は、分解しにくいことと共に生態系への影響が懸念されます。



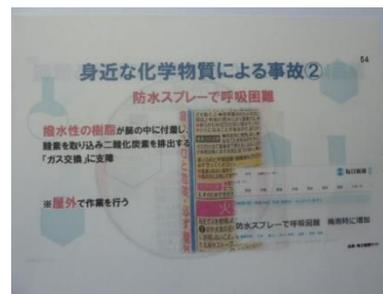
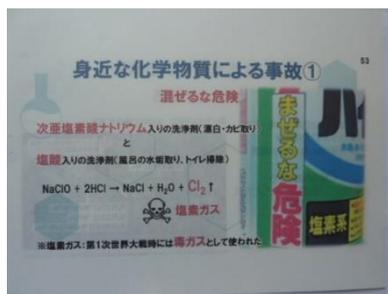
〈3. 化学物質の管理〉

化学物質は便利だが、「適正に管理する必要」があります。法律としては化審法と化管法があり、定期的の実態調査も行われているとのこと。

〈4. 化学物質の有害性〉

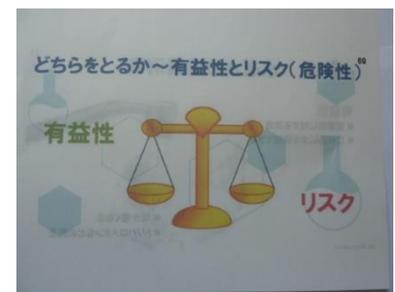
「化学物質の有害性については、一番気になることでもあり、特に関心を持って聞かせてもらいました。

- ・ 「次亜塩素酸ナトリウム入りの洗浄剤」と「塩酸入りの洗浄剤（風呂の水垢取り、トイレ掃除）」を混ぜると塩素ガスが発生し危険
- ・ 防水スプレーで呼吸困難（撥水性の樹脂が肺の中に付着）



〈5. 化学物質とのつきあい方〉

「どちらをとるか～有益性とリスク（危険性）」ということですが、やはりよく知っておくことが重要だと思います。



講座風景

堀井先生の分かりやすいご説明で、化学物質についてかなり理解できました。後半でもありましたように、「どちらをとるか～有益性とリスク（危険性）」ということですが、やはりよく知っておくことが重要だと思います。